

岡 智則議員



付加価値化と地産地消の 取り組みは！

岡議員

村の農産物をそのままの形で出荷しないで、価値を付加し農家所得を向上する方法は？ 世はまさに自然食ブームであり高級志向型であると言われている。先駆けの自治体では特産品を開発し成功している。本村でも、トマト、アスパラガス等大量に生産、他の野菜も多く栽培されているが、形が悪ければ商品にならず、また、価格変動が激しいのが現状。

- ①加工所整備の質問に村長は、村内加工業者に任せるのが現実的と答弁された。村の総合計画にも示されている農産物の高付加価値化について、行政の責務から具体的推進策は？
- ②村が主導し村内飲食店、宿泊施設のご協力で、各店工夫を凝らした新鮮な野菜サラダとして提供いただき、観光客の皆様へ地産地消で食べていただく「南阿蘇新鮮野菜サラダ街道」を提案する。こうした地道な活動がわが村の起爆剤になると考えるが、村長の考えは？

実証実験や販路開拓を進めている

村 長

- ①農業者によって村の風景は維持され、農家所得の向上は農業者の高齢化対策としても必要性を十分認識している。具体的には「南阿蘇の風景をつくる朝ごはん」をキャッチフレーズに、村内生産の農産物を使った料理を提供しているお店を村環境保全農業協議会ホームページで紹介。また、村のお米とそばの特徴をPRするパンフレットを作成、農業みらい公社を中心に有機栽培技術の確立に向けた実証実験や販路開拓を進めている。
- ②提案のイベントも村の情報発信のため有効だが、地産地消を継続できる仕組みを作ることこそ重要。村ではデジタル技術を活用。生産農家の栽培情報を飲食業者が求める農産物を適期に提供するマッチングシステムの実証事業を、協議会と農業みらい公社と連携し昨年から実施している。



村の新鮮な野菜

農業後継者の現状、対策は！

岡議員

残念ながら本村農業の将来展望は決して明るいものではないことも事実。生命を維持するのに不可欠な食料。その食料を生産確保する農業が不振であり、後継者に悩んでいることは憂慮すべき現象で看過できない問題。

- ③現在、専業農家数とそのうち後継者のいる数といない数は？ 後継者確保の為、行政として今までの対策と事業成果は？
- ④花婿、花嫁対策で、村は婚活イベントを積極的に実施、支援中であり成果を期待している。現在の状況は？ 他方、今はマッチングアプリで出会う方々が増えており、先進の自治体では良い縁をつかむ心得、アプリの安全な利用法等、ホームページで紹介するなど取り組んでいる。村でもマッチングアプリ活用した婚活支援、取り組みは出来ないか？

就農率は県内では高く各種対策実施中

村 長

- ③農業センサスで、販売農家667戸の内、主業農家202戸、その内65歳未満の農業専従者がいる農家は183戸。新規就農は昨年までの5年間で46名が就農しており、内23名が後継者で県内で阿蘇地域が最も多く、本村は阿蘇市に次ぐ。新規就農者対策は各研修や就農準備資金や家賃補助等の経済支援を行っている。就農認定後には施設・機械等導入補助と県等関係者の巡回指導を行っている。
- ④村の婚活イベントはカップル誕生確率が高い。質問のマッチングアプリ活用の婚活支援は、非常に有効と考えており、熊本都市圏の市町村で共同で実際に検討中。

岡議員

- ①②所得向上のため付加価値化、地産地消等出来ることから具体的な取組を進めていただきたい。
- ③農業後継者の状況は把握したが、非常に厳しい現状があるので、行政として丁寧で継続的な取り組みを。
- ④マッチングアプリは出会いの場として1位の25%に増加している。活用し行政として婚活支援の有効な取り組みを。